

## 卒業式の式辞

梅の花が美しく咲き始め、木々のつぼみの膨らみに春の訪れを感じる、今日のよき日、東大阪高等職業技術専門校の山根校長先生をはじめ、ご来賓の皆様、関係者の皆さま、保護者の皆さまのご臨席を賜り、大阪府立成城高等学校定時制の課程第10回卒業式を挙行できますことに、心から感謝を申し上げます。

さて、卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。

皆さんは、この成城高等学校の定時制の課程で学んできました。成長し、今日、卒業を迎え、ここに背を伸ばし、しっかり前を見て座っています。皆さんの輝いて誇らしい姿、とてもまぶしく感じます。

今、皆さんへ卒業証書を渡しました。この卒業証書を見て、まずはこれまでよく頑張ってきた自分自身をほめてください。ほんとうによく頑張りました。そして、皆さんを支えてくれた、保護者、職場の仲間、周りの友達、そしてお世話になった先生方へ、ありがとうの言葉や心からの感謝の気持ちを伝えて欲しいと思います。

この卒業は、皆さんにとって、ひとつの目標であり、夢だったことでしょう。この夢は実現しました。これからの皆さんの未来は続いていきます。未来の目標や夢の実現のために、これからも自分らしく夢を持ち続けて、歩みを続けてください。

さて、成城高校定時制で思いやりや優しい心を持ち仲間を大切にすることを学んできた皆さんへ、私からひとつ、お話ししたいと思います。

昨年の卒業式でも紹介しました、私の好きな金子みすずさんの詩です。

金子みすずさんは、約100年前の詩人で、26歳の若さで生涯を終えましたが、とても美しい言葉で詩をたくさんつくった人です。どれも素敵なのですが、今年は私が一番好きな詩を紹介します。

### 「星とたんぼぼ」

青いお空のそこふかく、  
海の小石のそのように、  
夜がくるまでしずんでる、  
昼のお星はめにみえぬ。

見えぬけれどもあるんだよ、  
見えぬものでもあるんだよ。

ちってすがれたたんぼぼの、  
かわらのすきに、だァまって、  
春のくるまでかくれてる、  
つよいその根はめにみえぬ。

見えぬけれどもあるんだよ、  
見えぬものでもあるんだよ。

この詩は、「星や、たんぽぽの根は、見えぬけれどもあるんだよ、見えぬものでもあるんだよ。」という、日本語の言葉のリズムが美しい詩です。

定時制で学んでいた皆さんには、学校から帰る道で見ていた夜の星は馴染みがあるでしょう。この詩では、星は昼にも見えていない、だけど青い空に隠れているんだよ、見えないけれども本当はあるんだよと言っています。心の目でみれば、見えるんだよと言っています。

これからは、この詩から伝わるメッセージの、「見えぬものでもあるんだよ、本当に大切なものは、心の目でみることだよ。」とともに、皆さんが成城高校の定時制で学んだ、仲間と協力する、思いやりの心を持って生きていって欲しいと思います。

もう一度、繰り返します。「見えぬけれどもあるんだよ、見えぬものでもあるんだよ。」この言葉を覚えていて、心の目を持ち、そして優しい心を持ち続けていていってください。卒業後の皆さんの活躍を期待しています。

保護者の皆さん。関係者の皆さん。本日は誠におめでとうございます。ここに卒業式を迎えた、お子様の姿をご覧になって、感激もひとしおかと存じます。定時制高校で学び、定時制高校を卒業するということは、簡単なことではなかったと思っております。本人たちの努力もさることながら、皆さんに支えられ、励まされ、応援をいただきながらこうして卒業を迎えました。本校の教育の推進にご理解とご協力を賜りましたことを、この場をお借りしまして厚くお礼申し上げます。

結びになりますが、ここに卒業を迎えた皆さんの門出を祝し、いまいちど、「おめでとう」の言葉を送り、校長の式辞といたします。

「卒業 おめでとう」

平成29年2月25日

成城高等学校 定時制の課程 富田公一